



2022年11月14日

各 位

会 社 名 株式会社イワキ
代表者名 代表取締役社長 藤中 茂
(コード番号：6237 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員経営管理本部長 井上 誠
(TEL 代表 03-3254-2931)

2023年3月期通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年3月期通期連結累計期間において、2022年5月13日に公表いたしました2023年3月期通期連結業績予想及び期末配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2023年3月期)	百万円 34,830	百万円 2,748	百万円 3,411	百万円 2,547	円 銭 116.31
今回修正予想 (B)	37,331	2,343	4,025	4,383	199.66
増減額 (B-A)	2,500	△405	613	1,835	
増減率 (%)	7.2	△14.7	18.0	72.0	
ご参考：前期実績 (2022年3月期)	32,439	2,139	2,992	2,396	109.37

(2) 業績予想の修正理由

2023年3月期通期連結業績予想につきましては、2022年10月19日に公表いたしました「特別利益の計上、2023年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想及び中間配当予想の修正に関するお知らせ」の第2四半期累計期間の業績予想修正を踏まえ、上記のとおり修正いたします。売上高は当初予想を大きく上回りますが、調達価格の高騰やコロナ影響緩和による展示会費用や旅費交通費、人件費などの増加により、営業利益段階では前回発表予想より減少となる見込みです。また、持分法による投資利益が想定を上回る見込みであることや、円安に伴う為替差益、イワキアメリカでの新型コロナ雇用維持支援金の発生等によって経常利益段階では大幅増益となる見通しとなります。さらに、持分法適用関連会社であった易威奇有限公司（連結子会社3社含む）及び、易威奇泵业国际贸易（上海）有限公司の連結子会社化による段階取得に係る差益（特別利益）の計上により親会社株主に帰属する当期純利益も前回予想を大幅に上回る見込みとなりました。

2. 配当予想の修正

(1) 2023年3月期期末配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想	—	22円00銭	49円00銭
今回修正予想	—	33円00銭	60円00銭
当期実績	27円00銭	—	—
前期実績 (2022年3月期)	12円00銭	21円50銭	33円50銭

(2) 配当予想の修正理由

当社は将来の成長のための投資に必要な内部留保の確保や、キャッシュ・フローの状況などを勘案しつつ、経営成績に応じ、連結配当性向30%超を目安に、安定的な配当を実施することを基本方針としております。

2023年3月期の期末配当金につきましては、この度の業績予想の修正を踏まえ、直近の配当予想から11円00銭増配の33円00銭へと修正いたします。これにより、年間配当金は1株あたり60円00銭となる予定です。

(注) 予想数値は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

以上